

事業説明シート

事業名	食のみやこ鳥取県推進事業（発見・体験「食のみやこ」推進事業）	担当部	商工労働部兼農林水産部
		担当課	食のみやこ推進課
実施根拠	鳥取県の将来ビジョン（平成20年12月）	開始年度	平成20年度
目的等	<p>【背景】鳥取県には、豊かな自然により育まれた海・山・里の幸という高いポテンシャルを有しており、この魅力を十分に活用したい。</p> <p>【目的】県民自らが鳥取の食の素晴らしさを認識し、県内外に発信するとともに、食を通じた地域づくりに取り組むことにより、地域産業の活性化を図る。</p> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食のみやこ鳥取県推進サポーター登録数：1,000店舗以上 ○学校給食での県産食材の使用率：60%以上 <p>【県が実施しなければならない理由】鳥取県の食のイメージづくりは、関係者（農水産物生産者、食品加工業者、飲食店、食料品小売店、食による地域活動団体等）が多岐にわたり、全県域に及ぶものであるため</p>		
対象（サービス受給者）	鳥取県民（農水産物生産者、食品加工業者、飲食店、食料品小売店、食による地域活動団体等）		
事業概要	事業内容（手段・手法）	<ol style="list-style-type: none"> 「食のみやこ鳥取県」推進サポーター（2,000千円） 食のみやこ鳥取県の推進に賛同し、県産品を積極的に利活用、販売PRする事業者等をサポーターとして登録。サポーターには食のみやこPR資材を提供。 【対象者】販売店、飲食店、ホテル、生産者等 「食のみやこ鳥取県」マーク推奨事業（1,000千円） 食のみやこ鳥取県を広く周知するため、商品パッケージ等への「食のみやこ鳥取県」ロゴマークの印刷・貼付に対する助成。（補助額上限150千円、補助率1/2） 地元の逸品再発見事業（6,258千円） 地元の逸品（県産食材を使った加工食品、旬の食材を使った料理・郷土料理等）について、商品のこだわりや料理にまつわるいわれなどについて、ラジオや新聞により紹介。 ・BSSラジオ（3,150千円）：「食のみやこ鳥取探検隊が行く」毎週金曜14時10分～（5分程度） ・日本海新聞（3,108千円）：特集記事（1回）+料理紹介記事（12回） 食のみやこ鳥取県づくり支援交付金（10,078千円） 民間団体等の行う食による地域振興活動・情報発信、県産品の特産品化等の取組に対する助成。 〔一般枠〕補助額上限2,000千円、補助率1/2〔特別枠〕補助額上限250千円、補助率10/10 学校給食等食材供給システム化促進事業（300千円） 市町村が行う学校給食への県産食材供給における課題解決のための検討・取組に対する助成。 （補助額上限150千円、補助率：県1/2、市町村1/2） 県産魚ブランド発信事業（1,700千円） 鳥取県産魚PR推進協議会が行う県産魚（松葉がに、白いか等）の消費拡大活動への助成。 （補助率：1/2） 鳥取県・秋田県共同ハタハタPR事業（6,909千円） 鳥取県産ハタハタの認知度向上のための秋田県と連携した首都圏での共同PRイベント・飲食店フェアの開催。 県産牛肉販売強化支援事業（805千円） 鳥取県牛肉販売協議会が行う鳥取和牛をはじめとした県産牛肉の県内での消費拡大活動への助成。（補助率：1/2） 標準事務費（3,239千円） 	
	目的達成に向け、上記の手段・手法を選択した理由	<ol style="list-style-type: none"> 「食のみやこ鳥取県」推進サポーター 「食のみやこ鳥取県」を推進するためには、広く県民運動としての展開が必要であるため。 「食のみやこ鳥取県」マーク推奨事業 商品パッケージ等を通じて食のみやこロゴマークを目にする機会が増えることは「食のみやこ鳥取県」を広く周知する手法の一つとして効果的であるため。 地元の逸品再発見事業 〔ラジオ〕生産者等が番組に生出演し、直接、リスナーに商品等をPRすることによって、こだわりやアピールポイントが伝わりやすいため。 〔新聞〕紙媒体であることから、料理レシピの掲載によって実際に読者が調理を行うことが可能であり、旬の食材を使った料理や郷土料理の調理方法を伝えやすいため。 食のみやこ鳥取県づくり支援交付金 食による地域づくり・地域振興に向けて創意工夫する自主的な民間活動を支援するため。 学校給食等食材供給システム化促進事業 学校給食での地産池消を推進するためには、給食の実施主体である市町村が中心となって食材供給者や栄養士、給食調理員等の関係者のマッチングや連携した取り組みが必要であるため。 県産魚ブランド発信事業 県産魚の消費拡大を図るには、漁協や仲買組合等の民間事業者が主体となって構成する県産魚PR推進協議会の取組を支援することが効果的であるため。 鳥取県・秋田県共同ハタハタPR事業 首都圏でハタハタ産地として知名度は高いが流通量の低い秋田県と、知名度は低い流通量の多い鳥取県が両県連携事業として共同して実施することによりPR効果を高めることができる。また、生産者、食品加工業者、飲食店等の関係者をまとめるとともに、ハタハタだけでなく、観光も含めた両県の魅力を売り込む場として県で実施。 県産牛肉販売強化支援事業 県産牛肉の消費拡大を図るためには、農協や肉肉販売事業者等の民間事業者が主体となって構成する鳥取県牛肉販売協議会の取組を支援することが効果的であるため。 	
事業の実施方法（国、市町村などを含めて、当該事業を進める上での手続きを記載）	<ol style="list-style-type: none"> 「食のみやこ鳥取県」推進サポーター ①サポーター登録申請 ②登録（PR資材の提供） 「食のみやこ鳥取県」マーク推奨事業 ①補助金交付申請 ②交付決定 ③事業実施 ④実績報告 地元の逸品再発見事業 〔ラジオ〕①県で番組出演者を募集 ②出演申込み ③出演者決定 ④番組生出演 ⑤県に放送確認書を提出 〔新聞〕①県で旬の食材や郷土料理、取材先を選定 ②記者が食材生産者や調理現場を取材し、原稿作成（県による校正） ③新聞掲載 ④読者からの感想を県に報告 		
※フローチャート式による記載も可			

事業の実施方法 (国、市町村などを含めて、当該事業を進める上での手続きを記載) ※フローチャート式による記載も可	4 食のみやこ鳥取県づくり支援交付金 ①助成対象事業の募集 ②応募 ③審査会により採択事業の決定 ④交付申請 ⑤交付決定 ⑥事業実施 ⑦実績報告				
	5 学校給食等食材供給システム化促進事業 ①助成希望市町村の募集 ②交付申請 ③交付決定 ④事業実施 ⑤実績報告				
	6 県産魚ブランド発信事業 ①補助金交付申請 ②交付決定 ③事業実施 ④実績報告				
	7 鳥取県・秋田県共同ハタハタPR事業 〔PRイベント〕イベント出展事業者の取りまとめ、ステージイベント出演者との調整 〔飲食店フェア〕フェア参加飲食店の掘り起こし ※両イベントの企画・運営は業務委託による				
	8 県産牛肉販売強化支援事業 ①補助金交付申請 ②交付決定 ③事業実施 ④実績報告				
25年度 予算額	事業費	32,289千円	(財源内訳)	国庫支出金	一般財源
	トータル コスト	64,859千円 [正職員: 4.1人、非常勤職員: 0人]			
決算額	年度	事業費		国庫支出金	一般財源
	24年度	21,966千円	(財源内訳)		21,966
	23年度	27,574千円	(財源内訳)		27,574
	22年度	28,526千円	(財源内訳)		28,526
これまでの 事業実績	1 「食のみやこ鳥取県」推進サポーター ・サポーター登録店舗数(H20年度~): 995店舗(H25年7月現在)				
	2 「食のみやこ鳥取県」マーク推奨事業 ・補助金交付件数(H24年度): 4件				
	3 地元の逸品再発見事業 〔ラジオ〕商品紹介件数(H21年度~): 207件 〔新聞〕掲載回数(H22年度~): 特集記事3回、料理紹介記事36回				
	4 食のみやこ鳥取県づくり支援交付金 ・補助金交付件数(H22年度~): 47件(一般枠: 34件、特別枠: 13件)				
	5 学校給食等食材供給システム化促進事業 ・事業実施市町村数(H12年度~): 11市町村				
	6 県産魚ブランド発信事業 (~H22年度) 県内イベントでの試食販売 (H23・24年度) 県内イベントでの試食販売、首都圏・関西圏イベントでの試食販売				
	7 鳥取県・秋田県共同ハタハタPR事業 (H23年度) PRイベント: 麻布十番商店街広場、飲食店フェア: 31店舗 (H24年度) PRイベント: 築地本願寺前広場、飲食店フェア: 40店舗				
	8 県産牛肉販売強化支援事業 ・県内でのイベント開催やプレゼントキャンペーンによる鳥取和牛・オレイン55のPR				
主な活動実績 (活動量の指標)	活動指標名	単位	22年度	23年度	24年度
	〔地元の逸品〕ラジオ番組での商品紹介件数	件	52	53	52
	〔県産魚〕県内イベント実施回数	件	7	5	2
	〔県産魚〕大都市圏イベント実施回数	件	1	2	5
	〔県産牛肉〕県内イベント実施回数	回	3	3	4
主な成果実績 (目的の達成度を図る物 差し)	成果指標名	単位	22年度	23年度	24年度
	〔サポーター〕サポーター登録状況	店舗	734	814	924
	〔地元の逸品〕新聞記事に対する読者の感想件数	件	878	990	900
	〔学校給食〕学校給食での県産食材の使用率	%	62	66	69
	〔ハタハタ〕首都圏でのPRイベント来場者数	人	-	10,000	15,000
	〔ハタハタ〕首都圏でのフェア参加飲食店数	店舗	-	31	40
	〔ハタハタ〕東京アンテナショップでのハタハター夜干しの販売実績(1事業者の実績を聞取り)	袋	16	151	536
事業の自己評価 (今後の方向性、課題等)	<p>今後の県政の運営指針として平成20年に策定した「鳥取県の将来ビジョン」の一つの柱として掲げられた「食のみやこ鳥取県」の推進。</p> <p>県民自らが鳥取の食の素晴らしさを認識して県内外に発信するとともに、食を通じた地域づくりが盛んとなっていくという県民運動としての展開の象徴となるのが「食のみやこ鳥取県」推進サポーターであり、平成25年7月現在で995店舗と、平成20年度の制度創設以降、急速に登録件数を拡大してきている。サポーターに配布した「食のみやこ鳥取県」のノボリやロゴマークを県内いたるところで、また、日常の様々な場面で目にするようになり、「食のみやこ鳥取県」の県民への浸透は、相当程度、進んできたものと思われる。</p> <p>また、県内各所で民間主体の食による地域振興イベントや特産品化のための取り組みが行われるようになり、学校給食においても県産食材の良さを見直し、その利用率も格段に高まる(H20: 54%→H24: 69%)など、「食のみやこ鳥取県」にふさわしい取り組みが展開されてきている。</p>				
特記事項	※「食のみやこ鳥取県」という言葉は、現在では、農水産物の生産現場や食育などの場面でも使われるようになり、農水産物や食に関係するものに広く使用されるようになってきている。				

『方向性』

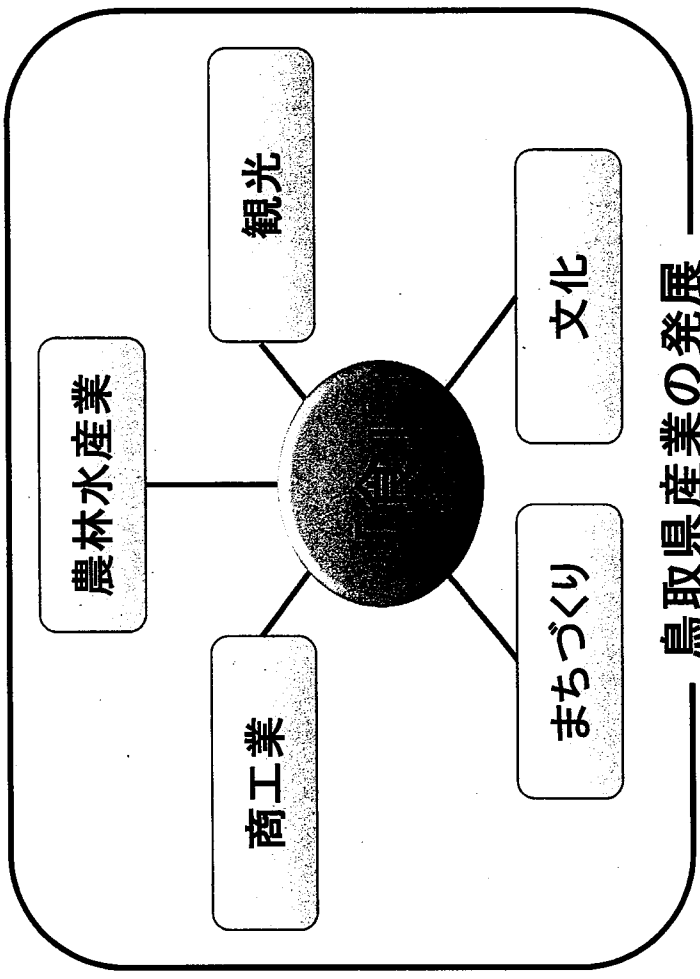
「食」をキーワードに鳥取県産品の振興を推進
⇒「食」は、最も身近な地域振興のツール

○58万県民鳥取の食のすばらしさを再発見
⇒県民全員がふるさとへの自信、
「食のみやこ鳥取県」のセールススタッフ

○「食」をツールに全国展開(打って出る鳥取県)
⇒鳥取フェアの拡大により産地間競争に打ち勝つ

『主な施策展開』

1. 県民の地産地消や県産品利用の取組みによる消費拡大
2. 時代のニーズに合った新たな特産品づくりや商品開発
3. 県産品の県外への売り込み、消費や販路の拡大
4. 評価・知名度の向上によるブランド化の推進
5. 「食」による地域づくり活動の活性化



鳥取県産品の発展



～参考「鳥取県の食の認知度」2010地域ブランド戦略サーベイ(390品目、約13,000人ネット調査)～
○二十世紀梨78位、松葉がに174位、スイカ214位、らっきょう245位、豆腐ちくわ318位
(※畜産、酒、菓子、料理部門でのランキングなし)

平成25年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
1項 農業費
1目 農業総務費

食のみやこ推進課(内線:7835)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
食のみやこ鳥取県推進事業(発見・体験「食のみやこ」推進事業)	32,289	30,902	1,387				32,289	
トータルコスト	64,859千円(前年度 67,914千円) [正職員:4.1人]							
主な業務内容	企画運営、普及啓発、交付金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	県内外への農林水産物や加工品の販売促進、誘客促進 郷土料理の普及定着、食による地域振興 学校給食等での地産地消の推進、ブランド化の推進 食のみやこ鳥取県推進サポーターの拡大((目標)サポーター登録店:1,000店舗)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県民が「食のみやこ鳥取県」を実感、体験できる環境づくりを進め、鳥取の食の豊かさを積極的に県内外に発信する機運を高めるとともに、県産品の全国に向けたPRを行う。

2 主な事業内容

(単位:千円)

事業項目	事業内容	事業費	予算額	事業主体	補助率
食のみやこイメージ発信	「食のみやこ鳥取県」推進サポーターの登録、PR等	2,000	2,000	県	—
	「食のみやこ鳥取県」マーク推奨事業 ・商品パッケージ等への「食のみやこ鳥取県ロゴマーク」添付の支援	2,000	1,000	推進サポーター	県 1/2
	地元の逸品再発見事業 ・生産者、企業等の製造現場や商品のこだわり、食文化をメディアを通じて発信(BSSラジオ、日本海新聞連載)	6,258	6,258	県	—
食のみやこ鳥取県づくり支援交付金	食のみやこ鳥取県のイメージアップや特産品化・ブランド化につながる民間等の取組への支援	18,578	10,078	民間団体等	県 1/2 ----- 非営利イベント等 県10/10
学校給食等食材供給システム化促進事業	市町村が県産食材を学校給食に導入するために行う広域的、効率的供給体制の検討、整備等の取組への支援	600	300	市町村	県 1/2
県産魚ブランド発信事業	県産魚販売、消費拡大のための県産魚のブランド発信、PR活動への支援	3,400	1,700	鳥取県産魚PR推進協議会	県 1/2
鳥取県・秋田県共同ハタハタPR事業	鳥取県・秋田県のハタハタの認知度向上のための共同PRイベント及び飲食店フェアの開催	13,818	6,909	県	—
県産牛肉販売強化支援事業	県産牛肉販売強化のための鳥取和牛をはじめとした県産牛肉のPR活動への支援	1,610	805	鳥取県牛肉販売協議会	県 1/2
標準事務費		3,239	3,239	県	—
合計		51,503	32,289		

3 これまでの取組状況、改善点

- ・県民の機運醸成・イメージ定着
食のみやこ推進サポーターの拡大に伴い、「食のみやこ鳥取県」のロゴ・イメージも着実に県民に浸透している。【目標】推進サポーター登録店:1,000店舗、【現状】919店舗(平成25年1月末現在)
- ・県民主体の「食のみやこ鳥取県づくり」
食のみやこ鳥取県づくり支援交付金の活用により、民間を主体とした食による地域振興活動が拡大している。



鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局
食のみやこ推進課

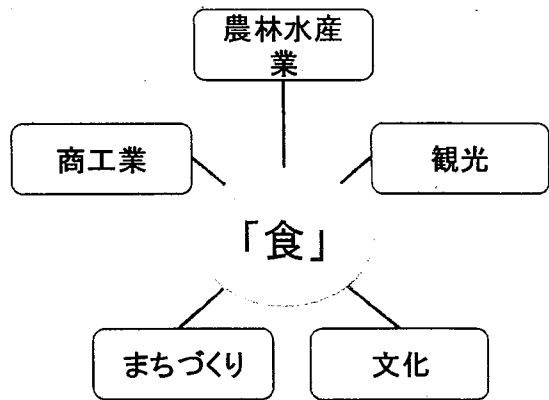
「食のみやこ鳥取県」

『方向性』

「食」をキーワードに鳥取県産業の振興を推進
⇒「食」は、最も身近な地域振興のツール

○58万県民鳥取の食のすばらしさを再発見
⇒県民全員がふるさとへの自信、
「食のみやこ鳥取県」のセールススタッフ

○「食」をツールに全国展開(打って出る鳥取県)
⇒鳥取ファンの拡大により産地間競争に打ち勝つ



鳥取県産業の発展

『主な施策展開』

1. 県民の地産地消や県産品利用の取組みによる消費拡大
2. 時代のニーズに合った新たな特産品づくりや商品開発
3. 県産品の県外への売り込み、消費や販路の拡大
4. 評価・知名度の向上によるブランド化の推進
5. 「食」による地域づくり活動の活性化



～参考「鳥取県の食の認知度」2010地域ブランド戦略サーベイ(390品目、約13,000人ネット調査)～
○二十世紀梨78位、松葉がに174位、スイカ214位、らっきょう245位、豆腐ちくわ318位
(※畜産、酒、菓子、料理部門でのランクインなし)

92-5

鳥取県には 豊かな自然に育まれた 海・山・里の幸がある。

鳥取県の特産品（農林水産物）



鳥取県の特産品・郷土料理



いただき(ののこめし)

カレーのこまぶり

アゴの子烹り

アゴのつみれ汁

豆腐竹輪

どんどろけ飯(豆腐飯)

鳥取県の誇れるもの

※各掲載は任意です。

日本海新聞

2013年(平成25年)6月28日

県民が描く 鳥取の未来像

日本海新聞は6月初旬に「鳥取県の将来像」をテーマに本紙100人モニター調査を実施、全員の回答を得た。鳥取県は暮らしやすいと考えている人はほぼ9割に上り、最も誇れるものとして、自然環境の良さや食べ物・水のおいしさを挙げる人が多かった。夢の山陰新幹線の実現には約7割の人が期待を寄せた。

本紙100人モニター調査

自然や食べ物自慢
働く場所足りない

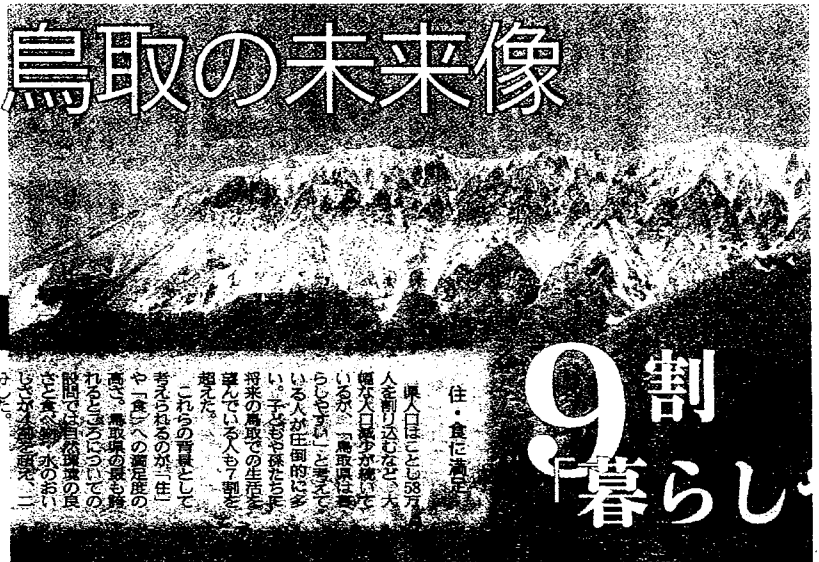
住・食に満足
県人口は約88万人を割り込むなど、大規模な人口減少が続いているが、鳥取県は暮らしやすいと評価している人が圧倒的に多い。子育て支援や高齢者の暮らしを支えるための施策が充実している。これからの鳥取県として、県民が何を誇りに思うのか、住・食への満足度、自然環境の良さ、食べ物・水のおいしさなどを挙げてもらいました。

年代別では、50代から70代以上は自然環境の良さを挙げた人が最も多く、20代から40代までは食べ物・水のおいしさを挙げた人が多かった。

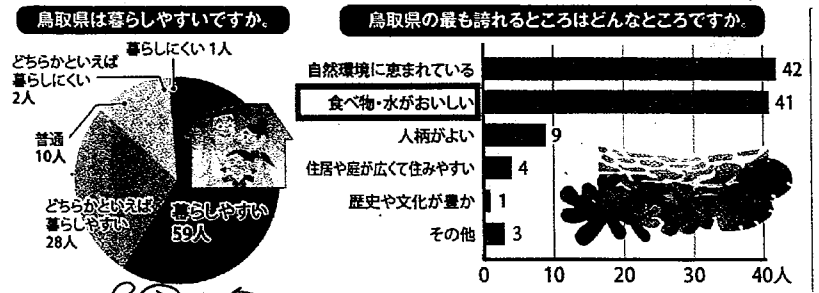
県内で最も自然環境が優れているのは、中国地方最南端で近年海外からの登山客も増えている大山(1709m)が並々とした山並みと、2010年に世界自然遺産に登録された、2010年に世界自然遺産に登録された、2010年に世界自然遺産に登録された。

仕事確保が第一
県が魅力を入れる必要が、大企業や中小企業など、地元企業に働き手不足が懸念されている。特に、20代から40代は、仕事確保が第一と答えた人が多かった。

住・食に満足
県民が何を誇りに思うのか、住・食への満足度、自然環境の良さ、食べ物・水のおいしさなどを挙げてもらいました。



9割「暮らしやすい」



は手は上は心な新
は手は上は心な新
は手は上は心な新

鳥取の食の素晴らしさを伝えたい

- 鳥取の食の素晴らしさを認識しよう
- 「食のみやこ鳥取県」を盛り上げよう
- 県産品の良さを県内外に発信しよう

食のみやこ鳥取県推進サポーター 〔事業1〕

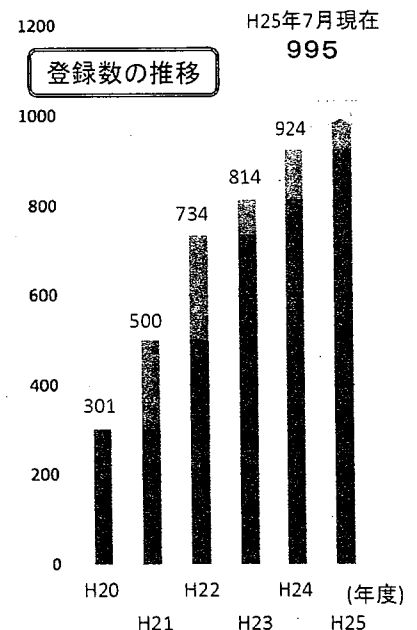
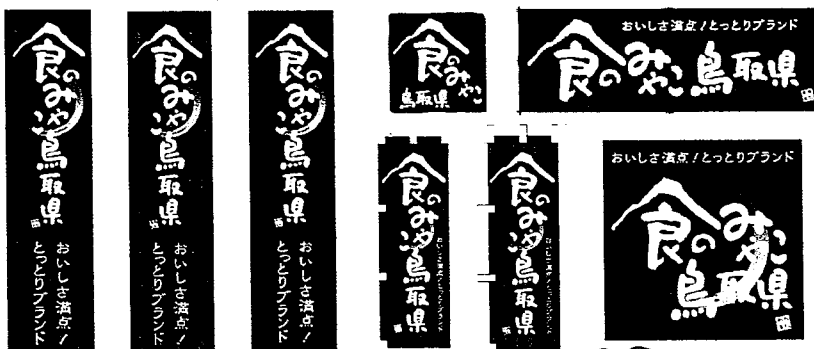
鳥取県で生産された農林水産物や加工食品、料理の良さを積極的にPRしている事業者（販売店、飲食店、生産者等）を「食のみやこ鳥取県」推進サポーターとして登録。

（特に積極的な取組を行うサポーターを三ツ星サポーターとして登録）

⇒ 広く県内外に鳥取の食のすばらしさを発信

県はサポーターに対して、次のような支援を行っています！

- 「食のみやこ鳥取県」ロゴデータ、PR資材（ノボリ、POP）等の提供
- 鳥取県ホームページ等での推進サポーターのPR など



9②-8

食のみやこ鳥取県推進サポーター [事業1・2]

◆県内いたるところで「食のみやこ鳥取県」のノボリやロゴマークを目にするように

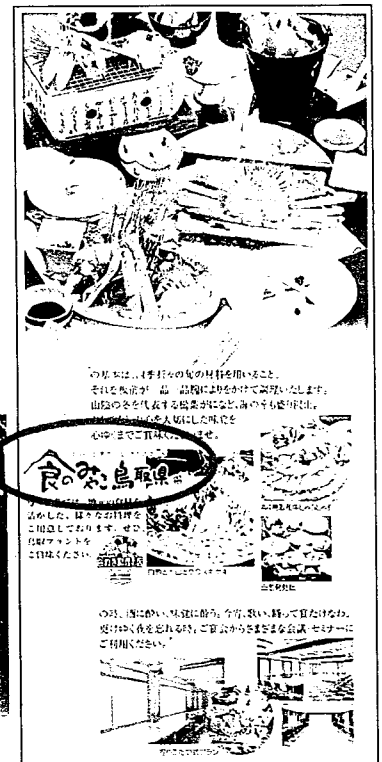


積極的に情報発信するサポーター [事業1・2]

サポーターの取組み(例)

- ・県産品の良さを自社ホームページで情報発信
- ・旬の食材をおいしく食べる講習会の開催
- ・鳥取県産品フェア・地産地消フェアの開催
- ・幼稚園・学校での食育講座・料理教室の開催
- ・イベントやチラシでの食のみやこ鳥取県の発信、等

旅館(サポーター)のチラシにも



県産食材を活用した薬膳料理講習会
〔山陰食と薬膳(米子市)〕



県外サポーターも



鳥取県産品フェアの開催
〔いしはら商店(神戸市)〕

9②-9

地元の逸品再発見事業 ～メディアでの発信～ 〔事業3〕

◆ **BSSラジオ** 毎週金曜 午後2時10分～(5分間)

「スマイル金曜日」～食のみやこ鳥取探検隊が行く～
・生産者等の生出演による商品PR



食いたんぼう
いたたき (原稿: 鳥取県)

伝統料理を現代風に

鳥取の特産品を土産で3人にプレゼントします。年賀、福袋等と、記事の掲載、お祝い品としてはいま、鳥取産の食材を各社に配り、年賀、福袋、新年、鳥取産物販売事業場、食、料理、県へ、グッズ等、228、電子メール、kufan@bss.co.jp、で送付させていただきます。締切日は8月10日、鳥取産の逸品は興味の発端として代えます。



商品の良さ・
こだわりをPR

◆ **日本海新聞連載記事**(毎月1回)

「とっとり食探訪(くいたんぼう)」
・旬の食材を使った料理・郷土料理などのレシピや歴史・いわれ等を紹介

「食のみやこ鳥取県」の取組み

食で地域を 元気にしたい

食による地域振興（琴浦グルメストリート）〔事業4〕



【H22・23年度 食のみやこ鳥取県づくり支援交付金活用】

◆H22.10.山陰道東伯-中山線の開通に伴う琴浦町内(国道9号線)の交通量減への危惧から地域資源を活用した集客・地域活性化を目指してNPO法人設立

◆次々と食に関連した事業を展開し、「琴浦グルメストリート」の認知度は定着

⇒● 国道9号線の交通量が5割減少するも沿線店舗の売り上げは維持

● 現在は、他団体と連携して「KOTOURA元気プロジェクト」を設立し、観光等を含めた琴浦町全体の魅力発信事業へと発展



食による地域振興（鳥取牛骨ラーメン応麺団）〔事業4〕

【H23年度 食のみやこ鳥取県づくり支援交付金活用】

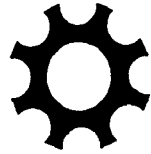
◆H21年6月「鳥取牛骨ラーメン応麺団」を結成。

◆鳥取県中部だけで、20以上の店舗で牛骨ラーメンを提供。

◆H22年3月、日本テレビ「スーパーサプライズ 一億人が選ぶ！今夜知りたいランキングご当地最新グルメベスト50」で第2位にランクイン



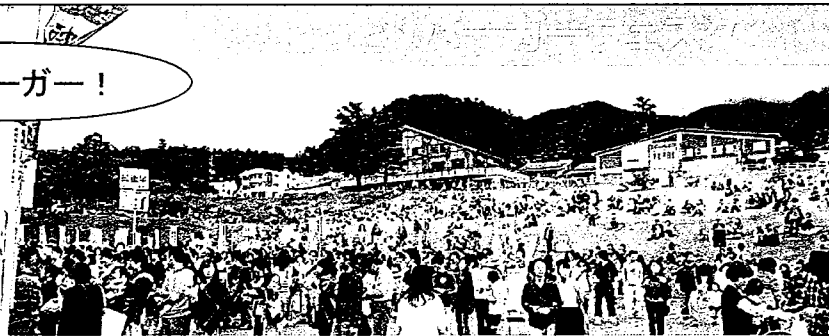
9②-11



【H24年度 食のみやこ鳥取県づくり支援交付金活用】
倉吉市立成徳小学校で14.27mのあご竹輪を焼き上げ、ギネス
記録認定！



がんバーガー！



【H22年度 食のみやこ鳥取県づくり支援交付金活用】
県内外から60チームが参加する全国最大級のご当地バー
ガーの祭典に発展

知事もハッスル



「食のみやこ鳥取県」の取組み

地産地消を
すすめたい

地産地消とは

農林水産業の振興及び食育に対する理解と地域への愛着心を育むため、地元で生産された農林水産物を地元で消費すること

1. 地元の新鮮な旬の食材を
安心して食べることができる
2. 商品の移動距離が少なく、環境に優しい
3. 農家の経営安定、地域の産業振興、
地域を担う人材を育てる

県産食材の利用状況（学校給食）

〔事業5〕

学校給食での県産食材利用率

年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
県産食材の利用率(%)	41	47	49	50	53	54	54	57	62	66	69

倉吉市での調理の様子



「24年度実績」

鳥取市: 65%
米子市: 65%
境港市: 71%
倉吉市: 67%



9②-13

県産品の PR・消費拡大

県産品の消費拡大（県産魚PR推進協議会）

〔事業6〕



県産魚の消費拡大

【鳥取県産魚PR推進協議会】の構成

〔生産者〕 鳥取県漁協、田後漁協、赤碕町漁協、境港水産振興協会
〔関係団体〕 飲食組合、県観光連盟、賀露・網代港・境港仲買組合、いなば温泉協会、消費者団体、境港市観光協会



「とっとり松葉がに祭り」
(かに汁、かに釣り、物販等)
〔堺中央卸売市場〕

【主な取組実績】

- ◆ 松葉がに
 - ・松葉がにの日の制定
 - ・キトサン入り因州和紙製の産地タグの開発
(甲幅11cm以上にタグ)
 - ・「若松葉」「親がに」の命名
- ◆ 岩ガキ
 - ・県内で漁獲される天然岩ガキを「夏輝(なつき)」と命名し、
高品質(殻長13cm以上)のものにブランドタグを取付
- ◆ ハタハタ
 - ・マスコットキャラクター「はた坊」を作成してPR
 - ・脂のりの良い大型ハタハタを「とろはた」と命名してPR
- ◆ マグロ
 - ・解体ショーや試食による境港マグロブランドのPR



ハタハタの調理実演(ハタハター
夜干しの南蛮付け)・試食販売PR
〔阪急梅田キッチンステージ〕

9② -14

県産品の認知度向上 (鳥取県・秋田県共同ハタハタPR事業) [事業7]

ハタハタ フェスティバル2012
HATAHATA FESTIVAL 2012

秋田ハタハタ
鳥取ハタハタ

12/1(土)・2(日)
10:00~16:00

雨天決行 荒天の場合は中止とさせていただきます。
【会場】築地本願寺前広場 入場無料



秋田県との共同PR

秋田・鳥取うまいぞ！ハタハタフェスティバル(築地本願寺前広場)



ハタハタの認知度向上のため、東日本の主産地である秋田県と西日本の主産地である鳥取県が連携し、両県合同で首都圏でのPRイベントや飲食店でのフェアを開催

県産品の消費拡大 (鳥取県牛肉販売協議会) [事業8]

【鳥取県牛肉販売協議会】の構成
全農ミートフーズ(株)(事務局)、全農鳥取県本部、JA鳥取いなば、JA鳥取中央、JA鳥取西部、鳥取畜産農協、各農協生産者代表、(有)とうはく畜産、鳥取東伯ミート(株)、JA中央会、畜産推進機構、鳥取県

【事業内容】

- ・県産牛肉の消費拡大のための各種活動
- ・鳥取和牛・オレイン55販売指定店の指定



県産牛肉の消費拡大



鳥取和牛と地元野菜を楽しむ会



夏休み親子ふれあい県産牛肉バーベキュー大会

鳥取和牛「この店この逸品」オールスターファン投票

食通から「美味しい肉」と高い評価をうける鳥取和牛。鳥取県内にはその鳥取肉を使った美味しい逸品があります。さあ、貴方が感動した逸品をぜひ教えてください！

投票期間
2012年11月15日(水)~2013年1月31日(木)まで

投票方法
投票用紙(中央)と2012年11月15日(水)以降に発行

鳥取和牛「この店この逸品」オールスターファン投票



贈答用ギフトパッケージの開発



平成23年度食のみやこ鳥取県づくり支援交付金 交付実績一覧

◆一般枠◆(予算額:8,500千円)

【補助額上限:2,000千円 補助率:1/2】

事業主体	事業概要	交付金 応募額	交付金 決定額	交付金 確定額
琴浦グルメストリートプロジェクト	○琴浦グルメストリートのPR【H22からの2カ年継続採択事業】	2,000,000	2,000,000	2,000,000
鳥取県道の駅ネットワーク	○道の駅「燕趙園」誕生や自動車道開通を背景に、道の駅マップの作成と配布を行い、集客と販売促進を図る。	390,000	390,000	390,000
智頭米ブランド化検討会	○智頭米のブランド化の推進【2カ年事業採択】	393,000	392,000	392,000
特定非営利活動法人 チェンジ米子	○鳥大等との協働連携による商品開発	2,000,000	2,000,000	1,878,000
花と青果の市場まつり 実行委員会	○豊かな食生活による健康な地域社会の実現を目指し、地元農産物PR、花育・食育の推進を図るイベント(フラワーフェスティバル同時開催)	750,000	750,000	675,807
境港紅ガニ有志の会	○紅ズワイガニのPR、消費拡大	325,000	325,000	325,000
鳥取県地産会	○「いただき」を鳥取県全体の名産品としてPRして広め、地域の知名度向上と観光客誘致を目指す。	376,000	376,000	371,594
琴浦町ミニマトPR実行委員会	○ミニマトのPR(H22は料理コンテスト・レシピ作成により消費者にPR。H23は、飲食店との連携を図りながら実施)	150,000	150,000	150,000
ジーマ鳥取	○H22に開発した米粉を利用した点心を、販売につなげるための取組	250,000	250,000	80,078
米フェスタ実行委員会	○県産米の消費拡大	800,000	800,000	739,255
鳥取牛骨ラーメン応援団	○愛Bリーグ加盟を目指し牛骨ラーメンによる地域おこし活動	479,000	411,000	411,000
米子おかしや会	○米子に集積している和菓子文化の啓蒙・需要喚起、地産地消、全国発信	410,000	350,000	350,000
大山ルビーブランド振興会	○大山ルビーの発信による地域ブランド確立、地域振興	375,000	305,000	305,000
一般枠合計		8,698,000	8,499,000	8,067,734

◆特別枠◆(予算額:1,500千円)

【補助額上限:250千円 補助率:10/10】

事業主体	事業概要	交付金 応募額	交付金 決定額	交付金 確定額
日本海水産資源・マグロの内臓料理の美味しさを広める会	○鳥大、県、漁協と協力してマグロ内臓を活用した料理を研究し、未利用部位の美味しい食べ方を追求 ○鳥取県産マグロの内臓を珍味として県内に紹介し、食文化に貢献	250,000	250,000	212,923
鳥取市有害鳥獣肉利用促進協議会	○イノシシ等捕獲対策のため、イノシシ肉の一般消費者へのPR・消費拡大	250,000	250,000	208,986
賀露みなと観光協会	○「因幡の白イカ祭り」を地元(鳥取市賀露地区)と連携して実施し、白いかを活かした港町・賀露の魅力づくりを行う。	250,000	250,000	250,000
鳥取いなば生姜研究会	○生姜及び加工品の消費拡大	238,000	238,000	238,000
食鹿花隊	○大学生を中心とした若者の柔軟な発想により、鹿肉を用いた加工品・料理開発を通じ、鳥取の新たな食文化づくり・地域活性化への寄与、観光資源に資する。	250,000	250,000	250,000
特別枠合計		1,238,000	1,238,000	1,159,909
総合計		9,936,000	9,737,000	9,227,643

採択状況

	応募数(件)	採択数(件)	うち部分採択数(件)	採択率(%)
一般枠	15	13	3	87
特別枠	8	5	0	63

平成24年度食のみやこ鳥取県づくり支援交付金 交付実績一覧

◆一般枠◆(予算額:8,500千円)

【補助額上限:2,000千円 補助率:1/2】

事業主体	事業概要	交付金希望額	交付金決定額	交付金確定額
智頭米ブランド化検討会	○智頭米ブランド化の推進【H23-H24 2カ年事業採択済み】	365,000	365,000	143,000
米子いただきがいな隊	○「いただき」を県の名産品としてPR、地域の知名度向上と観光客誘致を目指す。	499,485	499,485	419,814
鳥取市西商工会青年部	○西いなば「うわ〜」と驚くイベント用新メニュー開発	200,000	200,000	200,000
鳥取県産ブランド豚振興会	○大山ルビーの発信による地域ブランド確立、地域振興(広く消費者支持獲得)	590,000	590,000	242,521
境港ベニガニ有志の会	○紅ズワイガニ等のPR、消費拡大	484,030	459,030	459,030
特定非営利活動法人 チェンジ米子	○マグロの内臓を使ったエコ商品の開発・ブランド化	2,000,000	1,456,000	450,045
米フェスタ実行委員会	○米フェスタを通して県産米の消費拡大	1,163,500	1,163,500	998,785
鳥取地どり生産者協議会	○「鳥取地どりピヨ」を飲食店や消費者に知ってもらい、地域ブランドを確立し、地場産業振興を図る。	450,000	450,000	450,000
八頭・若桜谷の食材を活用した料理PR実行委員会	○八頭・若桜谷の食材を活用した料理PR	480,000	480,000	480,000
財団法人南部町地域振興会	○地元イノシシ肉と野菜を使った「ぼたん鍋セット」の企画・製造・発信。	681,800	411,800	197,190
勘右衛門土手ニラ保存会	○「世直し餃子」を発信して土手ニラを旧八東地域の特産に育て保存会拡大、地域活性化。	322,250	233,000	149,072
特定非営利活動法人 未来	○高付加価値の水産品を開発・販売し、鳥取の漁業・水産業ブランド化、再生。	987,500	772,500	662,155
新産業共通基盤	○県産野菜WEB販売(楽天出店)とPRIによる県産野菜ブランド化	797,450	661,200	661,200
一般枠合計		9,021,015	7,741,515	5,512,812

◆特別枠◆(予算額:1,500千円)

【補助額上限:250千円 補助率:10/10】

事業主体	事業概要	交付金希望額	交付金決定額	交付金確定額
琴浦町認定農業者協議会 女性部	○農林漁業女性による食文化伝承事業	250,000	250,000	250,000
野菜ソムリエコミュニティ鳥取	○県産青果物の美味しさ・産地情報・生産者の想い・ストーリー等を発信し、県民の認識・産地地消を推進。「野菜ソムリエ」の認知度向上。	250,000	250,000	208,986
成徳小学校創立140周年記念事業実行委員会	○成徳小学校創立140周年記念祭(11/3)で「あご竹輪」を媒体に食文化を発信・継承し、さらに世界ギネス記録に挑戦する。	250,000	250,000	250,000
特別枠合計		750,000	750,000	708,986

総合計

9,771,015 8,491,515 6,221,798

採択状況

	応募数(件)	採択数(件)	うち部分採択数(件)	採択率(%)
一般枠	13	13	6	100
特別枠	5	3	0	60